

2023年度 北星学園大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 自己点検評価報告書

数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会にて実施した北星学園大学「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の自己点検・評価結果を、以下の通り報告します。

No.	点検・評価項目	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取り組み等	点検・評価項目に関する根拠資料・データ
1	プログラムの履修・修得状況	プログラム科目の履修者数及び成績分布を確認し、全学部・全学科の学生がプログラム科目を履修・修得していることを確認した。	・プログラム科目のクラスごとの履修者数・成績分布、学科ごとの履修者数・成績分布【根拠資料1】
2	学修成果	数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会において、プログラムを構成する各科目の履修者数、成績分布、合格率の評価を行っている。その結果から、履修者が設定された到達目標に到達している割合の適切性を確認している。また、授業評価アンケートの結果から、学生の主観的評価としての理解度、教材、授業内容等の適切性を評価している。	・プログラム科目のクラスごとの履修者数・成績分布、学科ごとの履修者数・成績分布【根拠資料1】 ・2023年度授業評価アンケート集計結果【根拠資料2】
3	学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	科目ごとに実施した授業評価アンケートにより、多くの学生がシラバスの到達目標を達成できたと回答していることから、学生の内容の理解度が高いことを確認した。	・2023年度授業評価アンケート集計結果【根拠資料2】
4	学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	全学的に実施している授業評価アンケートでは、後輩等他の学生への推奨度を問う項目は設定されていないが、授業の満足度が高いことから間接的に推奨度としても概ね良好と推測している。今後、本教育プログラムの科目を対象とした独自のアンケートの実施を行い、後輩学生への推奨度等の調査を検討する。	・2023年度授業評価アンケート集計結果【根拠資料2】
5	全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	全学生の約7割は、全てのプログラム科目の単位修得が卒業要件となっている。プログラム科目の一部が必修科目となっていない学生の履修率向上のため、ガイダンス等を通じて履修を促すことを検討する。	・プログラム科目のクラスごとの履修者数・成績分布、学科ごとの履修者数・成績分布【根拠資料1】
6	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本プログラムは、2023年度に開始し、2026年度末に最初の卒業生を輩出することとなるため、現状では本プログラム修了者の進路調査・活躍状況調査・企業からの評価は実施していない。今後、主な就職先である企業等に対して実施している「卒業後アンケートおよび本学卒業生の動向調査」において確認することを検討したい。	
7	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	主な就職先である企業等に対して実施している「卒業後アンケートおよび本学卒業生の動向調査」において、本教育プログラムに対する評価・意見等を集約するとともに、本教育プログラムの改善に活用する予定である。	
8	プログラム内容を学ぶ楽しさ、学ぶ意義を理解させる取り組み	アンケート調査の企画・実行・分析・発表という一連の流れを、履修者自身がすべて行うPBL型授業を取り入れている。体験的に学ぶことを通じて、プログラム内容を学ぶ楽しさ、学ぶ意義を理解させるよう工夫している。	・2023年度シラバス【根拠資料3】 ・数理・データサイエンス・AIに関する情報科目教員のアンケート結果【根拠資料4】
9	内容・水準を維持・向上しつつ、分かりやすい授業をするための取り組み	情報科目担当者オリエンテーションにおいて、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）のモデルカリキュラムの確認や科目担当者・TAからの意見収集および情報交換を目的としたアンケートの集計結果を共有し、授業改善に努めている。	・数理・データサイエンス・AIに関する情報科目教員のアンケート結果【根拠資料4】